

インシユアテックイノベーション

11

ショップ運営からエコシステム構築まで

アイリックコーポレーション
エージェントソリューション部長

畔柳 主税

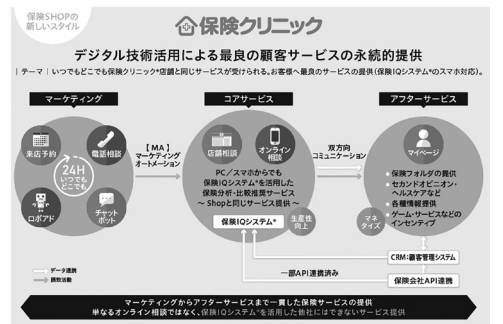
保険業界のDX・インシユアテックへの挑戦は、安定した既存ビジネスが優先され試行レベルにとどまる傾向がある。弊社も例外ではなかった。しかし、新型コロナウイルスで社会のオンライン化が加速し弊社も全社一丸で一気にDXの坂を登っていく。

保険比較・証券分析・AI-OCRの活用はま

波が押し寄せていた。既に投信のロボアドバイザーが米国で生まれ、日本でも2016年7月にW



DXPJの中核を担う田中氏(左)と小林氏



デジタル技術を生かした保険ショップの新スタイル

へ加速するのだが、現時は時期尚早だった。だが、仕方がなく他社の保険ロボアドを借りて集客しひそかにオンライン保険相談するとう無理筋の試行シナリオを描いた。しかし、プロトタイプ版は軌道には乗らずに試行の段階で終わった。そこに20年春、新型コロナウイルスが日本全体を襲った。保険ショップへの来店が激減する一方で、社会を

一気にオンライン化へと変革させていく。弊社も社長直轄のDXプロジェクトが発足し、各部門から精鋭が集められた。プロジェクトリーダーには小林が指名された。小林が成長戦略で温めたDXの知見と企画が活かされた。失敗を土台に次の挑戦が始まるものだ。た

コロナとDXが加速させた保険ロボアドバイザー

「よ」と激励を受けた。さつとく、AS-BOXを活用した保険ロボアドの企画案に整理した。保険ロボアドを社内での展開を先行させるために「オンライン上、保険ロボアドで集客し、そのまま保険相談する」というDXの成長戦略を同僚の小林

【畔柳主税(あぜやなぎ・ちから)氏のプロフィール】静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門・企業代理店を経て、2013年から、保険業界向けのITソリューションの企画・営業に携わる。持ち味は、企業コラボ。